

令和4年度学校自己評価システムシート(東京農業大学第三高等学校・同附属中学校)

目指す学校像 1 主体性を重視する教育活動を展開する。 2 部活動の強化により、学校に活力を与える。 3 生活指導を徹底していく中で、地域社会・国際社会から信頼される人材を育成する。 4 私学としての特性を生かし、生徒・保護者の満足度を高める学校改革を進める。 5 志願者を増加させ、定員の確保をめざす。 6 財政の健全化を目指すなかで、生徒への教育サービスを向上させる。 7 授業力のさらなる向上を目指す。

重点目標 1. 外部研修・他校視察・生徒による授業評価・研究授業を通して、授業力の向上を図っていく。 2. 学年・教科・コース・クラブ活動・学校行事等の連携を強め、すべての教育活動で主体性を重視していく。 3. 将来の社会変化に対応できる人材育成を目指し、民間企業等と連携しながら特色ある教育内容を構築する。 4. 志願者を増加させ、定員の確保を目指す。

達成度 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上) C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

<学校評価委員構成> 学校評価委員 10名 事務局(教職員) 4名

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

Main evaluation table with columns: 年度目標, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策, 学校関係者評価, 評価会議開催日 (令和5年5月13日), 達成度, 理由・意見

